

# 理事会議事録

横浜スキー協会										横ス協30総014号								
会議名称	平成30年度 第7回				実施日時	平成31年3月13日 水曜日 19:00~21:00												
会議会場	県民サポートセンター305会議室				記録係	西田			印			理事長			印			
出席者	会長	副会長	理事長	副理事長		理事					監事		凡 例					
	河邊	鈴木	坂田	小沼裕		西田	森山	五月女	小沼み	飯塚		東島	小川	出席	遅参	早退	遅早退	欠席
	○	○	○	○		△	○	○	○	○		△	○	○	△	▽	◇	×

1. 河邊会長挨拶

シーズン後半に入りけが人が出ている行事がある。今後の行事は注意を払って進めましょう  
規約規定委員会を立ち上げ、役員選出に関して検討を開始する

2. 本日の議題（坂田理事長）

2. 1 報告・審議事項

2. 1. 1 総務部

2. 1. 1. 1 審議事項

なし

2. 1. 1. 2 報告事項

(1) 登録状況  
記載の通り

2. 1. 2 教育部

2. 1. 2. 1 審議事項

(1) 3月ファミリースキー

29名参加、バス23名  
信濃町スポーツ支援金が500円/人・泊  
土日で協力員1名要請  
ビンゴ景品で地元産の景品を準備している  
日程に関しては親御さんの予定調整が難しい。今後の検討が必要。  
【予算承認】

2. 1. 2. 2 報告事項

(1) サポートプログラム

横浜合格者 15名 (55.6%)  
全体合格率 26名 (41%)  
サポートプログラム参加者合格 16名 (66.6%)  
手厚いサポートが行えたが、次年度以降の活動は継続性込で検討が必要  
47,000ほどの黒字化（参加者増、講習会追加等が起因）  
かかった工数をしっかり精算してください  
事業化も可能なのではないか。今後の展開もぜひ考えていきたい  
→Facebookのオンラインサロン、クラウドファンディング等の考え方を取り入れるのはいかがか  
→希望者はいたが年齢制限等。ほかクラブからも期待が大きい。  
→お子様がくる行事には動画、映像は必要。共有する仕掛けを考えていきたい  
動画の長期保管は今後検討が必要（GoogleDrive等）

2. 1. 3 競技部

2. 1. 3. 1 審議事項

なし

2. 1. 3. 2 報告事項

(1) ボールトレーニング

決算報告

(2) 市町村対抗

決算報告

支出が当初予算より約10万円ほど抑えられた  
大会出場者が少なかった。減員したカテゴリは少年とマスターズ。  
マスターズは他の大会に選手が流れてしまった  
優勝した相模原は52名の選手団。横浜は29名と少なかった  
けが人1名（脛骨骨折）。保険適用有無のため詳細を確認願う  
理事長自ら大会に出場して全種目完走。素晴らしい働き。  
クロスカントリーリレー 横浜2位

(3) シティカップ

予算 赤字174,000だったが、推定は100,000となる見込み  
→予算の立て方に課題あり。各定番をサイボウズにアップすること  
水野氏の扱いは協力員。登録書の手続きをお願いする  
参加者が10名程度増加。選手のお子様に参加いただいている傾向がある  
→要因分析を行って、次回以降の拡大につなげましょう

役員の割り振りは済  
競技成績はスキー場に対応するため、集計処理は不要。賞状の印刷等が業務となる

2. 4 上部団体関連

2. 4. 1 体協関連

・体協役員選出願い

評議員、理事候補者 4/8 名

山田顧問を推薦いただきたいと本人から連絡あり 【承認】

2. 5 その他

2. 5. 1 シティカッププログラム案への問い合わせ対応状況

現地での受付、エントリーフィーの受け渡し 準備状況確認

保険のリスト 掲示板に格納済み

2. 5. 2 行事開催に向けた事前打ち合わせ

オンライン会議も活用必要だが、対面での作業確認等、行事準備改善に向けて推進いただきたい

2. 5. 3 決算にむけて

早急にスケジュールしていただきたい。なるべく日曜日設定で。

3. 閉会挨拶 (鈴木副会長)

残り2つの行事 限られた人数で協力して進めてください

行事後の事務処理 速やかに終わらせ、評議員会に向けて準備をお願いします

以上